

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
212202_下呂市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	下呂市では年間を通して16時半下校にしたり、地域と学校が連携・協働する取り組みを推進したりして、教職員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減に力を入れている。しかし、急激な改善には至っていない。	・地域学校協働活動推進員の配置形態を学校運営協議会に2名（任期2年）を配置し、持続可能な体制にする。 ・推進員協議会を通した推進員での熟議を行い、地域課題の洗い出しや、課題解決に向けての地域を巻き込む仕掛けづくりを実施する。 ・社会教育主事が地域と学校のアドバイザーとなり、地域住民の自治的な活動となる支援を行う。	地域、家庭、学校の願いをより共有し、役割と責任を明確にすることにより、地域や家庭との連携・協働が進み、教職員の業務負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教職員の割合	60	%	60	62	4 ・昨年度の指標より微増にとどまったが、R3からR4にかけて、下校時間の変更や学校と地域との連携における地域学校協働活動の実施によって、10ポイント近く割合が増えている。今年度、推進員協議会を3回位置づけることによって、学校に地域の人材が参画しやすくなったことで、さらに増加したと考えられる。 ・地域学校協働活動推進員の配置に関して、人材の確保が難しく、ほとんどのCSで現状のままにとどまった。今年度、人材育成のために県のプログラムなどを利用して研修の機会を設けたので、今後の推進員としての配置の増加につなげたい。	
212202_下呂市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	地域学校協働活動を実施する上での課題として、コーディネーターや推進員等の人材確保を挙げている。	推進員等が孤立しないように、下呂市内全体の推進員連絡協議会を開催する。 人材確保・育成を図るため研修会を実施する（年1回実施、50人参加目標）。	1. 推進員連絡協議会による交流を行うことで、他地域を参考にし、よりよい活動を見いだせる。 2. 研修の場が、地域のコミュニティづくりにつながっている。	「地域で子供を育てる意識が向上した」と回答した地域学校協働活動推進員の割合	50	%	60	65	4 ・地域学校協働活動推進員協議会を年度初め、中間、終わりの3回実施したことにより、各CSでの活動実施状況を共有することができ、他地域と連携・協働して事業を行ったり、参考にして活動を仕組んだりすることができたことで、子どもを巻き込んだ活動の増加につながった。 ・CSと地域学校協働活動の一体的推進を図り、そのための人材を育成することを目的として、講演会を実施した。研修の場がコミュニティになり地域の活動を広く周知することにつながったことにより意識の高まりにつながったと考えられる。	

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。